

## 臼田町誌刊行会 会議録

日時：平成 23 年 7 月 25 日

13：30～14：43

場所：あいとびあ臼田

多目的室 3・4 号室

### ○新委員への委嘱書交付

出席者 10 名 欠席者 4 名

1. 開会
2. 教育長あいさつ  
自己紹介
3. 副会長の選出について  
楯本委員
4. 協議事項
  - (1) 臼田町誌文書目録刊行及び資料整備について
  - (2) 臼田町誌刊行会の今後のあり方について
  - (3) その他
5. 閉会

### 質疑・意見交換等要約

#### ●臼田町誌目録刊行及び資料整備について

事務局：平成 21 年度から実施してきた臼田町誌文書目録を平成 24 年 3 月に刊行する。

併せて実施してきた資料整備は所有者への掲載許諾等の実施し、公開非公開の区分をできる範囲で実施していく。

古文書の撮影を行い、データ化するとともにプリントアウト、ファイル等まとめた資料を整理し、臼田町誌編纂室の棚に保管している。

委員：プリント、ファイルをした元の文書はどうなっているのか。

事務局：必要な物はこちらでデータとして残してあるが、個人の物はすべてお返ししている。

委員：撮影データは大事になってくる。この後、史料編が出た後はどうなるのか。

事務局：市民公開については、今編纂室の持っている個人所有物、特に人権的内容を含んでいるものもあり、公開の可否について検討している。所蔵者の同意を得られたも

のについては公開の方向でいく。

保管については、当然佐久市志があり、臼田町誌についても臼田町誌編纂室に相当のスペースを使って保管している。これは、将来的に建物を含めて検討をする。

委員：県下では、市史編纂後に松本市と長野市は文書館を造っており、佐久市や望月も含め文書館的な物を臼田で造ってもらうことを希望する。

事務局：文書館のようなものを造る、造らないは検討段階で即答できない。今後は全体計画の中で考えていく。

会長：文書館は前から話をいただいているので是非にお願いしたい。

事務局：公文書館というのができるかどうかについてこれから考えていきたい。

会長：文書館というのを視野に入れながら一つお願いしたい。(1)については承認で良いか

委員：異議なし

会長：承認

#### ●臼田町誌刊行会の今後のあり方について

事務局：委嘱した皆さんが8月31日までで任期満了なるが、引き続き現委員の皆さんにお願いしたい。3月には印刷製本が上がり、市民の皆さんに配本することを予定している。その中で委員の皆様にお集まりいただいて、今後の史料の活用について話し合いいただくことを計画している。

会長：来年3月まで同じメンバーで目録の活用も含めて考えていただきたい。刊行会の要綱では発刊をもって解散するとあるが、3月に町誌が完成してその活用も含めて検討していくことで理解願いたい。

委員：保管場所と保管の方法、公開の方法について早く決定してもらいたい。公開の場所、人的配置も含めて刊行会で検討していただきたい。

事務局：保管場所については、管財等の関係で空いた施設も含め今後検討していく必要がある。

会長：大事な問題ですので、できるだけ皆さんに公開し、知恵をお借りして理解していただければと思う。

臼田町誌を地域に生かしていくことを考えて欲しい。

委員：町誌の資料も町誌編纂講座とか講演会を開いていくことによって、地域との関係ができ活かすことができる。

会長：臼田の自然あるいは歴史について資料をもとに編纂にあたられた方が直接話していただく講演会等を行ってもらえるような方向で、今後考えていっていただきたい。

委員：臼田町誌を開いてもらえば、郷土のこと、自然のこと、子供たちが興味を持つものはいくつもあると思う。

会長：地域のことを大人が子供たちに伝えていってもらいたい。臼田町誌を開いて、活

用の仕方を考えていただくとありがたい。

事務局：町誌を活用していくということが一番大事なことになるので、次回のまとめの時にテーマとして皆さんに投げかけていきたい。

会 長：これからの社会を生きるには、過去から学ぶものがたくさんあり、そういうものを地域の人たちに伝えていくことが大事なことで、それが編さんした大きな意義だと思う。

委 員：学校で地域のことを調べるところが無い。インターネット時代ですので、ホームページにおいて臼田町誌を調べることができるなど、インターネットを活用していくことも必要である。

会 長：今は情報化の時代ですので、情報の発信も大事になってくる。

委 員：先程の説明で、資料整備、データ化とは、どの範囲まで考えているのか。

事務局：まず規約を作って更にどうしたらいいかという事を考えていかなければいけない。手順を踏んでやっていきたい。

委 員：許可されたものについては、できるだけ中身まで見たいので、中身を出してもらいたい。

会 長：目録を刊行した後どう活用していくかということが大事な最後の仕事になると思う。皆さんのお知恵をお借りし、臼田町誌刊行会はこの体制で3月までお願いしたい。

委 員：異議なし。

会 長：承認をいただいたということでお願いします。

## ●その他

### ・臼田町誌編纂年次報告第11集について

事務局：臼田町誌年次報告第11集を配布した。臼田町誌の今までの事業等が載っているので活用をしていただきたい。

### ・臼田町誌編纂講座

事務局：臼田町誌編纂講座の平成22年度の実施状況の説明、今年度の実施について説明。平成23年度は来年2月ごろ実施予定で検討している。

### ・臼田町誌の販売状況について

事務局：資料2により販売実績及び今後の販売方法について予約者を中心に販売していく

閉会